



会山行Bパーティ

室谷川 駒倉沢～倉谷沢

初めての会山行担当としての山行。

当初は週末に雨が降りそうな予報が出ていて、中止になる見込みだった。昨年も同様に室谷で会山行を行う計画だったが、雨で中止になっている。今年もどうよかなーと担当同士で話していると前々日ぐらいから急速に予報が改善し、決行の運びとなった。

室谷は沢廻行にはいったことがない山域で、スラブが有名な山域のようだ。今回廻行する沢も、とういかこの山域のどの沢もご立派なスラブを携えている。長いスラブ登りというのは初めてで、ドキドキしながら山行に向かった。

【日程】

2019年8月31(土)～
9月1日(日)

【メンバー】

本多た(L)、松本

長山、佐藤

【グレード】

1級上

【地形図】

室谷、駒形山

【記】本多た

8月31(土)：晴れ

前日まで雨が降っており、出発が遅れた。車の回収の関係で他のチームのメンバーが集まるのを待っていたらさらに出発が遅れた。パーティメンバー間の話し合いで暑い時間帯にスラブを超えるのは大変だから、今日はスラブ前で泊をとろうという判断となった。

沢に入るとしばしば泳がないとどうにも進めないという場所が出てきて面白かった。ただ流れは緩く、晴れていて暑かったのでちょうどよかった。いくつか滝を越え、歩いていくといつの間にかスラブ下の近くまで進んでいた。今回から携帯のGPSアプリを導入しており、現在地の把握はばっちり。合わせて地図と確認していくと、すぐ答え合わせができて楽しかった。

泊地を探そうとしていたが上部にはなかなかいいところがなかった。会の記録ではスラブ前に留まった記録もあるのだが、一体どこに泊まったのだろうか。適当な二俣前を泊地とし、1日目を終えた。

9月1日(日)：晴れ

朝3時起床5時出発。まだ暗い。徐々に秋が近づいているなあというのを感じた。この日はスラブを越え、倉谷沢を下降するという長丁場となった。パーティ内でスラブ前の三俣は左岸側に行く決めていたので、計画通りそちらにいった。記録では右岸側に行くパーティが多かった。

スラブが出てくると文字通りのっぺりとしており、下から見ている時に登ったらさぞ高度感があるだろうなーと思った。登ってみると以外とフリクションが効き、手もありそこまで怖くなかった。ただ下を見るとやはり高度感があり、少し苦手だなと感じた。登りきってしまうとすぐに源頭風な

溪相となり、ぼちぼち歩いていたら稜線に出た。

ここで「そのまま沢に地図上の岩マークを避けて降りられるのでは？」という安直な考えが頭をよぎった。来る前から降りられたら行程時間が短縮できるのになと考えていたポイントだった。パーティの皆で行ってみようという話になり、行ってみると案の定スラブが待ち構えており、地図上の岩場マークの隙間が普通の沢なわけじゃない、という後から考えると至極真つ当な結論に至った。結局戻り、1時間ロス。この判断は本当にパーティの皆に申し訳なかった。

基本に戻り事前に計画していた下降点を目指す。コルに着いたのは12時30分頃。このまま倉谷



沢降りると集合時間に間に合わない可能性が高いと感じた。では会長おすすめ駒倉沢に降りる下山ルートに向かうのと迷ったが、行動水がないのとどれくらいの時間で降りられるかの目途が分からなかったため、行動時間の目安が付き、危険箇所もないと分かっている倉谷沢を降りることにした。

特になんて事のない沢だったが、ところどころに現れる深いトロは泳いだら気持ちよさそうだった。ただ心情的に「ああー、集合時間に遅刻するー」という思いが流れていたため100%で楽しめなかった。一方慌てて怪我するのも更に馬鹿馬鹿しいので、一步一步丁寧に歩いた。ほぼ無心だった。そうこうする内に林道終点に出た。最初の方は道が潰れていたが、すぐに回復しさくさくと車のところまで向かった。



小滝のへつり



メインスラブの上で

【行程】

8/31 駒倉沢出合い (9:30)～C1(14:30)

9/1 C1(5:00)～稜線(10:30)～林道終点(17:00)